

和牛産肉能力直接検定成績（2002年度）

真喜志修 運天和彦 棚原武毅 千葉好夫

I 緒 言

沖縄県畜産試験場では、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛種雄牛産肉能力検定（直接法）を実施している。そこで、2002年4月から2003年3月までに検定を終了した雄牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛および検定方法

検定牛は、肉用牛群改良基地育成事業に基づき、生産された子牛のうち、産子調査により選抜された13頭の雄子牛である。

検定牛の概要を表1に示した。検定牛の父と母方祖父の組み合わせでは、糸桜系×糸桜系が4頭、気高系×田尻系が3頭、気高系×糸桜系が4頭、気高系×晴美系が1頭、田尻系×田尻系が1頭であった。

検定は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法¹⁾に基づき実施した。直接検定とは、7～8カ月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、その期間濃厚飼料は朝夕2回の時間制限給餌（検定法の改正により厚竜以降は朝夕2回の適量給餌）、粗飼料は乾草を不断給餌し、増体量や飼料要求率等を調査するものである。

表1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血 統				生産地
			父	母	母方祖父	母方曾祖父	
1	北 文 勝	'01. 6.15	平 茂 勝	き た ふ く	北国7の8	安福165の9	伊 江 村
2	時 路	'01. 7.28	平 茂 勝	も り み つ	晴 姫	藤 波	平 良 市
3	久 田 茂	'01. 7.15	平 茂 勝	く だ ら 4	安 平	糸 晴	伊 江 村
4	北 晴 平	'01. 7.13	平 茂 勝	は る ざ く ら	北国7の8	晴 姫	石 垣 市
5	厚 竜	'01. 8.23	平 茂 勝	さ ち こ	紋 次 郎	糸 富 士	伊 江 村
6	松 山 藤	'01. 8.13	北 天 山	ま つ ふ じ	藤 桜	糸 光	石 垣 市
7	隆 勝	'01. 8.15	平 茂 勝	た か し	中 部 6	紋 次 郎	伊 江 村
8	隆 天 山	'01. 8. 8	北 天 山	く に た か	北国7の8	神 高 福	伊 江 村
9	誠 天 山	'01. 9.28	北 天 山	ま こ と	糸 福	福 鶴 57	伊 江 村
10	糸 国	'01. 9. 5	糸 晴 美	ふ じ や す	北国7の8	安 波 土 井	今 帰 仁 村
11	冬 輝	'01.12.10	平 茂 勝	て る し げ	紋 次 郎	富 士 晴	伊 江 村
12	藤 次 郎	'01.11.18	藤 波	ふ じ	紋 次 郎	富 士 晴	今 帰 仁 村
13	平 富 士	'02. 3.10	平 茂 勝	み の る	富 士 晴	福 岩 田	今 帰 仁 村

Ⅲ 検 定 成 績

検定成績は、表2および表3に示すとおりである。各調査項目の平均値は、開始時日齢238.0日、開始時体重263.5kg、終了時体重401.2kg、180日補正体重207.2kg、365日補正体重419.9kg、1日当たり増体量(DG) 1.23kg、粗飼料摂取率49.4%、各飼料要求率は濃厚飼料3.44、粗飼料3.36、DCP0.59、TDN4.16である。

DGについては、北文勝の1.55kg、冬輝の1.39kg、時路の1.36kgおよび糸国の1.25kgが優れている。365日補正体重については、冬輝の493.1kgが最も優れており、隆天山の369.7kgが最も劣っている。飼料要求率(TDN)については、冬輝の3.59が最も優れ、4.70の久田茂が最も劣っている。13頭の平均値を2001年度の全国平均値²⁾と比較すると、DG、飼料要求率(TDN)で優れている。

表2 検定成績(体重及びDG)

No.	名 号	開始日齢	体 重 (kg)				DG (kg)
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	
1	北 文 勝	241	286	460	222.5	478.6	1.55
2	時 路	228	268	420	218.1	453.9	1.36
3	久 田 茂	241	250	371	194.3	384.0	1.08
4	北 晴 平	243	277	409	213.5	420.8	1.18
5	厚 竜	235	268	400	212.5	421.2	1.18
6	松 山 藤	240	225	360	176.0	375.7	1.21
7	隆 勝	243	264	393	203.6	404.5	1.15
8	隆 天 山	250	228	366	171.7	369.7	1.23
9	誠 天 山	231	237	367	190.9	392.5	1.16
10	糸 国	254	305	445	227.8	443.8	1.25
11	冬 輝	217	287	443	243.4	493.1	1.39
12	藤 次 郎	239	261	395	204.0	411.8	1.20
13	平 富 士	232	269	387	215.7	409.1	1.05
	平 均 値	238.0	263.5	419.9	207.2	419.9	1.23
	標 準 偏 差	9.6	23.6	38.2	20.2	38.2	0.13
	全 国 平 均 値	—	—	—	—	—	1.20

注) 全国平均は2001年度(334頭)の平均値

表3 検定成績(飼料要求率及び体型評点)

No.	名号	粗飼料摂取率 (%)	飼料要求率				体型評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN		
1	北文勝	48	3.08	2.85	0.48	3.70	82.4	
2	時路	50	3.19	3.14	0.50	3.93	83.9	◎
3	久田茂	48	3.90	3.63	0.61	4.70	81.2	
4	北晴平	53	3.61	4.03	0.60	4.69	82.0	
5	厚竜	52	3.60	3.96	0.66	4.56	82.9	
6	松山藤	46	3.53	3.05	0.61	4.04	81.5	
7	隆勝	50	3.37	3.33	0.60	4.08	83.0	
8	隆天山	50	3.41	3.36	0.61	4.12	82.2	
9	誠天山	46	3.54	3.04	0.61	4.04	82.2	
10	糸国	51	3.55	3.70	0.64	4.39	83.3	◎
11	冬輝	50	2.95	2.95	0.53	3.59	82.2	○
12	藤次郎	50	3.26	3.23	0.58	3.94	82.4	○
13	平富士	48	2.69	3.36	0.64	4.31	81.8	
平均値		49.4	3.44	3.36	0.59	4.16	82.4	
標準偏差		2.1	0.26	0.38	0.05	0.35	0.7	
全国平均		—	—	—	0.56	4.37	—	

注1) 全国平均は2001年度(334頭)の平均値

2) ○は産肉能力間接検定候補選抜牛

3) ◎は産肉能力間接検定実施選抜牛

これらの検定牛の中から母牛の育種価および選抜基準³⁾(DG1.20kg以上または365日補正体重430kg以上)に基づき時路, 糸国, 冬輝, 藤次郎の4頭を選抜した。

これら選抜牛のうち, 時路(勝晴姫に改名)および糸国(糸国波に改名)に関しては, 平成14年度第3回沖縄県肉用牛改良協議会専門委員会において和牛種雄牛産肉能力検定(間接法)実施牛として選抜した。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会, 2000, 和牛登録事務必携, 58-67
- 2) 社団法人全国和牛登録協会, 2002, 和牛種雄牛産肉能力検定成績, 4
- 3) 沖縄県農林水産部, 1988, 沖縄県肉用牛群改良基地育成事業実施細則

検定補助: 石垣新